

第4次安城市生涯学習推進計画 第2回策定委員会 議事概要

日 時：令和2年7月28日（火）

午前9時30分～11時30分

場 所：へきしんギャラクシープラザ 大会議室

<委員出席者> 12名

【委員長】 近藤 金光（社会教育委員）

【副委員長】 黒柳 厚子（社会教育委員）

【委員】 稲垣 英雄（社会教育委員） 榊原 重幸（社会教育委員）

小寺 陽子（社会教育委員） 早川 一雄（社会教育委員）

柳澤 義雄（社会教育委員） 瀬戸井 明人（社会教育委員）

塚原 和江（社会教育委員） 神谷 浩（社会教育委員）

小島 英樹（公募市民） 小森 義史（公募市民）

<委員欠席者> 3名

【委員】 三井 信子（社会教育委員） 岩月 江美（公募市民）

矢羽々 みどり（公募市民）

<事務局等出席者> 6名

神谷 高典（生涯学習部 生涯学習課 生涯学習係 係長）

天野 信治（生涯学習部 生涯学習課 生涯学習係 専門主査）

鳥居 有香（生涯学習部 生涯学習課 生涯学習係 主査）

太田 菜月（生涯学習部 生涯学習課 生涯学習係 主事補）

加藤 栄司（一般社団法人 地域問題研究所）

押谷 茂敏（一般社団法人 地域問題研究所）

<次第>

1. 開会あいさつ
2. 本日のプログラム説明
3. 策定スケジュールや進め方について
4. 第3次生涯学習推進計画の特徴と構成、進めてきたことについて知ろう！
5. 生涯学習に関するアンケート結果から安城市の生涯学習の現状・課題を知ろう！
6. グループワーク
「アンケート結果からわかったこと、もっと深堀して聞きたいことを洗い出してみよう！」
 - (1) 「4つの窓」の記入
 - (2) 「4つの窓」によるアイスブレイク
 - (3) グループワーク
A：アンケート結果からわかったこと・気づいたこと
B：eモニターアンケートでもっと深堀して聞きたいこと
7. グループワーク結果の発表とまとめ
8. 閉会あいさつ（事務連絡事項も含む）

＜配布資料＞

- ・ 次第
- ・ 策定スケジュール
- ・ 第3次安城市生涯学習推進計画 冊子
- ・ 第3次安城市生涯学習推進計画の特徴
- ・ 第3次安城市生涯学習推進計画の進捗状況
- ・ 安城市生涯学習に関するアンケート調査報告書
- ・ 安城市生涯学習に関するアンケート調査結果のあらまし
- ・ 「4つの窓」シート
- ・ 次回までの課題シート（深掘して聞きたい事項／4年間を振りかえって）

なお、第2回策定委員会については第1回作業部会（作業部会員出席者14名）と合同で開催した。

<議事概要>

1. 開会あいさつ

事務局より開会のあいさつを行った。

3月に予定していた当会議が新型コロナウイルス感染症のため7月に延期した旨、本日も感染症対策として会議時間の短縮にご協力いただきたい旨を説明した。

本来は生涯学習部長のあいさつを予定していたが、時間短縮のため、省略することを説明した。

委託業者の地域問題研究所を紹介し、進行を依頼。

2. 本日のプログラム説明

地域問題研究所よりプログラム説明を行った。

3. 策定スケジュールや進め方について

《説明》地域問題研究所：【資料】策定スケジュール

策定のスケジュール、委員会・作業部会の役割について説明

4. 第3次生涯学習推進計画の特徴と構成、進めてきたことについて知ろう！

《説明》地域問題研究所：【資料】第3次生涯学習推進計画の特徴、第3次安城市生涯学習推進計画の進捗状況

地域問題研究所より現行計画の特徴（基本理念、4つの推進テーマとその意図、背景）を説明した。

また、現行計画の数値目標、作業部会で検討した市民提案を反映した施策の内容、重点的に取り組む施策・事業の明確化を実施したことを説明した。

【委員】第3次の計画指標（数値目標）を決めた根拠は。（1）の「生涯学習に対する満足度」について現状値を見ると平成24年度56.3%で令和2年度61%となっている。なぜ61%なのか。61%は低いのではないか。

【地域問題研究所】これは安城市企画政策課の市民アンケートでいろいろな施策の満足度という調査を行っている。この中で「生涯学習に対する満足度」という結果をもとにしている。61%の根拠は、100%が理想だとは思いますが現実にとって難しい。過去のアンケートの結果から、いろいろなことを実施した上で総合的に5年間で5ポイント上げていきたいという判断で5%アップの61%とした。

5. 生涯学習に関するアンケート結果から安城市の生涯学習の現状・課題を知ろう！

《説明》地域問題研究所：【資料】安城市生涯学習に関するアンケート調査報告書、安城市生涯学習に関するアンケート調査結果のあらまし

令和元年9～10月に市内在住15歳以上市民2,000人（無作為抽出）を対象に実施した「安城市生涯学習に関するアンケート」の要点を説明。

6. グループワーク「アンケート結果からわかったこと、もっと深掘して聞きたいことを洗い出してみよう！」

（1）「4つの窓」の記入

《説明》地域問題研究所：【資料】「4つの窓」シート

①名前・所属／②今、私が取り組んでいる生涯学習活動／③第4次生涯学習推進計画への期待（こんな生涯学習計画になったらいいなあ）／④アンケート結果からわかったこと・気づいたこと）を各自で記入

（2）「4つの窓」によるアイスブレイク

《説明》地域問題研究所：【資料】「4つの窓」シート

「4つの窓」に記入した①名前・所属／②今、私が取り組んでいる生涯学習活動／③第4次生涯学習推進計画への期待をグループ内で発表。

（3）グループワーク

A：アンケート結果からわかったこと・気づいたこと

《説明》地域問題研究所：【資料】「4つの窓」シート

「4つの窓」に記入した④アンケート結果からわかったこと・気づいたこと）をグループ内で発表

まとめは次頁のとおり

B：eモニターアンケートでもっと深堀して聞きたいこと

《説明》地域問題研究所：【資料】次回までの課題シート（深堀して聞きたい事項）時間がなくなったため、後日生涯学習課あて提出を依頼。

No	区分	本名	ニックネーム	所属グループ・団体名	今、私に取り組んでいる生涯学習活動	第4生涯学習推進計画への期待	アンケート結果からわかったこと・気づいたこと	グループ
1					・郷土史の広報(回覧で) ・歴史を楽しむ会(月1回仲間と町内会) ・郷土の調査	・今を楽しく将来豊かに	・地区公民館の活用 ・ITの必要性 ・就労年齢者へのあり方	A
2					・心の健康予防に関する支援者育成 ・数字と色の言葉を用いたコミュニケーションスキルアップ講座 ・俳句セラピー	・癒しと医療がつながった ・心の健康予防のイベント(カラダの健康イベントはいろいろあるので)	・個人で学ぶ人の割合の多さ ・オンラインやオフラインの交流	A
3					・安城にミュージカル、音楽、映像などの文化の定着 ・南吉ピアノ(ベッカーピアノ)の認知、保全活動	・成果がみえる ・何か形として残る ・新しい取り組み ・文化的なこと	・イメージ通りの結果でした ・民間施設(安城市内?)がどこなのか気になりました	A
4					・女性のキャリアアップ講座 ・かたづけ講座 ・マネー講座	・市民が活用できる生涯学習になるといい	・地域社会で活かしている内容が ○スポーツ、文化活動 ○子育て、育児支援活動 であることがわかった。	A
5						・社会貢献へつながる! 学習計画(広い意味で)	・個人→社会へが足りない	B
6					・卓球教室の開催(主に安祥アリーナ安城の卓球場で1教室2時間、10教室程度)	・いつでも、どこでも、誰とでも参加できるように内容を充実させ、健康で楽しく、面白い、ためになる企画を	・情報の入手方法でインターネット、スマホ等のネット情報をもっと充実させたい	B
7					・自己スキルを広く活かせる学習 ・生活に役立つスキルの向上	・年齢ギャップをうめられる計画 ・スキルを活かして貢献できるものを拡大する	・活動の範囲が狭くなっている 集団学習⇒個人学習	B
8					・幸せについて、何が幸せか?他人との付き合い 方法	・市民が幸せになるには市が進める健康はもっと具体的に進めたいと思う	・あたりさわりのないお付き合い、人をあおらない、密にならない、人との距離をとることは少しむなしく思う	C
9					・スポーツ運動教室	・コロナ対策に対応したもの	・個人の生活満足度や時間、金額、性別によっても影響が大きいこと ・生涯学習で学んだことの活用なしが40%を超えていた	C
10					・子育て支援活動 ・子ども支援活動 ・芸術体験支援活動	・子どもたちが「大人になってもらいたい」と思えるような安城にしたい	・意外(失礼)に男性の取り組みも多かった ・自宅等でやっている方が多く、withコロナ時代、そうした方達へのサポートが重要になるのでは	C
11					・ジム ・英語学習	・気軽に誰でも情報収集ができる体制、その情報によって気軽に「やってみようか」と思うものの発信(見込まれる、その人たちにも参加してほしいので、皆に周知される方法がほしい)	・安城市広報等で情報の発信をしていますが、読まない人が多い(LINE)等で発信すれば若い人に届く ・今、マンションが建設されていますが、他市、他県からも人が流入されるのか	C
12					・インターネット関連	・ネットを使う方が10%増える(スマホ)	・生涯学習を活かしたいと思うが、活かしていない人が多い	D
13					・ピアノ ・英会話 ・お料理	・Internationalなクッキング ・ピアノコンサート、クラシックコンサート ・ピアニストによるピアノ講座 ・文化センターのピアノに触れる機会が増えたらいいなあ	・簡単にインターネットによる講座の申し込みや確認ができるといいと思いました	D
14					・子どもの教育関係(障害)についての学習	・学習して、次のステージ(こんな活用方法もあるよ)という提案もほしい	・学習して、活用するのを活かすのは難しいのかな?	D
15					・絵本の読み聞かせ(0歳~大人へ)	・時代に合った生涯学習の提供をしていただきたい(例えば、携帯電話の使い方、パソコンの使い方等)	・年齢が高くなる程、生涯学習に対する興味、関心があるが、個人の学習方法が多いのには驚いた	D

No	区分	本名	ニックネーム	所属グループ・団体名	今、私に取り組んでいる生涯学習活動	第4生涯学習推進計画への期待	アンケート結果からわかったこと・気づいたこと	グループ
16					・仕事が生涯学習施設 ・地域のボランティア組織に参加	・自己実現よりも地域社会の形成をもっと大きく打ち出してほしい(市の方針ならば)	・生涯学習の成果を利用することが少ない ・町内公民館のことが少ない ・回収率が少ない	E
17					・アンフォーレまちなかウォーク ・アンフォーレ自転車散歩 ・アンフォーレ子ども自転車教室 ・アンフォーレ健康美化ウォーク ・ピリオパトル	・第3次計画で未達で終わっている新規取り組み事業の継続実施	・有効回収率29.3% ・活かしている20.9% ・活動していない41.8%	E
18					・職業として、学校教育に携わっているため、授業を通じて理科心の育成、ものづくりへの啓発、実践を行っています	・市外、県外の地域との芸術、文化等の交流 ・国際交流	・アンケート回収率の低さ ・個々での取り組みが主体となっている ・学びをどう活かすかが肝心	E
19					・地域でのスポーツ行事計画 ・ニュースポーツの紹介、推進	・市民が「ワクワク・ドキドキ」して参加したくなるような行事(計画)	・個人で学びたいと思う人が増えていること	F
20					・健康につながる活動(出向き先) ・老人クラブ ・小中幼保 ・福祉センター、公民館	・市民皆が楽しく活動に参加できるもの ・健康に関する講座(学習) ・調理実習 ・健康体験	・男性よりも女性の参加が多い ・若年層が少ない ・高齢者が多く利用されている ・取り組んでみたい上位が関心度が高いのとつながる	F
21					・運動(汗を出す) ・ウォーキング ・草取り、かたづけ	・公民館利用度の上昇 ・地区、地域共に楽しく学べる教室を増やす メールや支払いを簡単にする 今、心配なウイルスなど	・調査対象者の数をもっと上げて回収率を上げて欲しい	F
22					・清く	・継続	・一部の方だけの結果	G
23						・若者にもっと関心をもって参加できるような計画になるとよいな	・情報入手方法でネット情報が2倍に伸びている(コロナ禍でどのように変化するか?)	G
24					・人材育成に関すること	・個々のキャリアを活かした社会活動ができる社会(市)	・生涯学習へ参加された方々でも「いかされていない」人たちが多かった点 ・点と点を線に結ぶことが大切かも	G
25					・安城市の植物	・自然、環境を大切にすること	・女子の方のほうが積極的 ・個人でやる人が多い	G

7. グループワーク結果の発表とまとめ

時間がなくなったため省略。上記のまとめを次回作業部会にて配付予定。

8. 閉会あいさつ（事務連絡事項も含む）

事務局より閉会のあいさつ、次回の会議の日程案内を行った。

以上